

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.8

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

臨時国会を終えて 戦争が平和をめぐるって岸田政権を追及

10月20日から始まった臨時国会は、12月13日で55日間の会期を終えた。イス



赤嶺政賢衆議院議員

ラエルによるパレスチナ自治区ガザへの無差別攻撃、米国の対中国包囲網に追随した米軍と自衛隊の大規模な共同訓練、民間空港・港湾の軍事利用拡大など、戦争か平和かをめぐって岸田政権への追及を続けた。憲法審査会では、憲法9条にもとづく平和の準備が大切なことを訴え続けた。

国会終盤、赤旗日曜版の

第212臨時国会 赤嶺議員国会論戦一覧

◇11月9日 安全保障委員会

辺野古の軟弱地盤の存在を政府が2007年に把握していた問題を追及

◇同10日 安全保障委員会

県の自粛要請を無視し、新石垣空港で日米共同訓練を強行した問題を追及

◇同16日 憲法審査会

イスラエルのガザ攻撃の即時中

義に基づく外交をと意見表明

◇同22日 予算委員会(TV質問)

辺野古新基地建設の費用について政府が過小な見積りを示していた可能性を追及

◇同30日 憲法審査会

武器輸出の拡大により、日本製の兵器が紛争地で使用される危険性について意見表明

止を求めない政府を批判し、憲法の平和主義に基づき

◇同7日 憲法審査会

改憲の条文案起草機関設置の提案に「国民に改憲を押しつけるもの」と反対を表明

◇同11日 沖縄北方特別委員会

沖縄振興予算の減額による深刻な影響について取り上げ、予算の増額を要求

スクープ記事をきっかけに、自民党議員の企業献金や裏金問題が国政をゆるがす大問題に発展した。本格的追及はこれからだが、野党の国会議員やメディアから、企業献金も政党助成金も受けとっていない日本共産党だからできたことと高い評価を受けている。臨時国会の課題は、そのまま来年の通常国会にもちこされる。県民の闘いと連帯し、次期通常国会に臨む決意だ。



孫がコマまわしを始めた。そのうち手のひらにも、ひよいとのせるようになった。▼「上手だね」と声を

かけると、とても満足そう。学童でコマまわしはやっていらしい▼「〇〇くんはもっと上手だよ。空中手のせもお散歩もできるんだ」と同級生の友だちのことをうらやましそうに話す。そのうち、わが孫も空中手のせを練習し始めた。失敗を重ねていたが、一定の確率でできるようになった▼孫の成長ぶりをみてみると、学童の存在の大きさを実感する。国会でも沖縄の学童保育所問題をとりあげてきた▼子どもにとって最善の環境をつくるため、もっともって頑張らねばと思う。

辺野古代執行 不当判決に抗議 デニー知事支え、決してあきらめない

辺野古新基地建設をめぐる代執行訴訟で、福岡高裁那覇支部は12月20日、国の請求を認め、知事に設計変更



裁判所前で「県民の声を聞け」と訴える赤嶺議員ら

更の承認を命じる判決を言い渡しました。新基地建設に反対する「オール沖縄会議」は不当判決に抗議する集会を県庁前で開き、「デニー知事を支え、決してあきらめない」と決意を固めました。

同会議の糸数慶子共同代表は、「司法による地方自治と民主主義の破壊だ」「沖縄の誇りある自治と民意の実現を求め行動し、声を上げていこう」と訴えました。

辺野古住民訴訟弁護団の白充(ベクチュン)弁護士は、判決が代執行の根拠に普天間基地の危険性が除去されないことを挙げたことについて、「だったら、まず最初に普天間基地を運用停止すべきではないか」と強調。「判決は全く理屈が通っていない。知事を支え、胸を張ってたたかていこう」と呼びかけました。

赤嶺議員も一連の行動に参加。判決に先立ち裁判所前で行われた集会で、新基地建設反対の県民の民意が何度も示されてきたことを挙げ、計画の撤回を訴えました。

この間の活動

- 比嘉瑞己県議と与儀公園前で街頭宣伝(11月27日)
- うりずんの会でJA沖縄中央会の要請を受ける(同29日)



- 日本共産党国会議員団でオスプレイ全機の即時飛行停止と撤去を防衛・外務両相に申し入れ(同30日)
- 辺野古ゲート前県民大行動で挨拶(12月2日)
- 憲法会議主催の「冬の憲法講座」で国会報告(同3日)
- 渡久地修県議、西中間久枝那覇市議と儀保駅で街頭宣伝(同4日)
- 党派委員会、オール沖縄会議でオスプレイ全機の即時飛行停止・撤去を沖縄防衛局に申し入れ(同日)
- 殺傷武器輸出に反対する宗教者・市民緊急集会(宗教者ネット主催)で挨拶(同7日)
- 新日本婦人の会沖縄のついでに国会報告(同9日)
- #コドソラの政府要請に同席(同11日)



- 「台湾有事」を起こさせない院内集会(沖縄県対話プロジェクト等主催)で挨拶(同12日)
- 辺野古新基地建設の代執行を考える院内集会(総がかり行動実行委員会等主催)で挨拶(同日)
- 玉城武光県議、上原トワイチロー県議予定候補の事務所開きで挨拶(同16日)
- 比嘉瑞己県議、湧川朝涉那覇市議と明治橋で街頭宣伝(同18日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡(8)

被災地と連帯して

東日本大震災と原発事故からの再建の中で新しい年をむかえました。被災地の再建は、長期にわたる課題



石巻市の被災地調査(2011.10.10)

です。放射能で汚染された故郷を、絶対とりかえずという希望をもって

頑張る福島の人々と連帯して頑張ります。

基地なくせの世論の先頭にたつて

野田内閣は、原発、TPP、普天間、消費税増税をめぐって、国民との矛盾をぬきさしならないところまで拡大しました。沖縄県民の基地のない沖縄を求める強固な総意を代表して、国会で奮闘しています。(『アカミネイケン国会だより』2012年1月号)

5期目に新たな決意

5期目の国会を迎えました。政治の矛盾の根っこは、「アメリカいいなり」「財界中心」の姿勢です。この姿勢を変える「本物の改革」が必要です。筋をとおしてぶれずに頑張る日本共産党の役割がますます重要です。今年も頑張ります。

危険な安倍内閣の路線

安倍内閣は、原発の再稼働、TPP交渉参加、憲法9条の改悪など、暴走を始めています。民意に背をむける政治は、必ずゆきづまります。「新基地建設反対」の声を国会に届け、憲法を守ります。(『アカミネイケン国会だより』2013年1月号)



オスプレイ配備撤回!米兵による凶悪犯罪糾弾!怒りの御万人(うまんちゅ)大行動(2012.12.23)